

## 2016佐渡国際トライアスロン大会に協賛

全国餅工業協同組合では、2016年9月に新潟県の佐渡島で開催された「2016佐渡国際トライアスロン大会」に協賛し、トップアスリートやスポーツを愛するたくさんの方々に焼き餅をふるまうとともに、国内産水稲もち米100%を使用した包装餅の魅力や、スポーツとお餅の相性の良さについてご紹介しました。



### トライアスロン競技人口は増加の一途

トライアスロンは1970年代に米国で誕生したスポーツです。スイム(水泳)、バイク(自転車)、ラン(長距離走)を一人で兼ねる過酷な内容が人々の興味を集め、後に国際基準(スイム1.5km+バイク40km+ラン10km)が定められると競技人口は急速に拡大していきました。2000年シドニーからは五輪正式種目となり、今年2016年には第71回国民体育大会(希望郷いわて国体)にも正式競技として採用されています。



### 国内最長距離！佐渡国際Aタイプで勝つことが鉄人の証し

現在、全国各地で年間に約300ものトライアスロン大会が開かれる中で、愛好家たちの間で特別なレースと位置づけられているのが「佐渡国際トライアスロン」です。

佐渡国際トライアスロンには日本選手権をはじめ幾つかの κατηγοリーがあり、その中の「国際Aタイプ」(スイム3.8km、バイク190km、ラン42.2km)は国内最長距離を誇るレースです。これは海外のアイアンマンレースにも匹敵する距離(ウルトラ・ロングディスタンス)を体験できるレースで、トライアスリートならばいつかはこの距離を完走してみたいと目標に掲げるレースなのです。



### レースを勝ち抜く鍵は「おもちパワー」！

しかし、レースが過酷になればなるほど、身体への負担もきつくなるもの。トライアスリートたちが最も恐れるのは、競技途中でエネルギーが切れてしまうハンガーノック(極度の低血糖状態)です。それを防ぐために有力選手たちはレース前に糖分を含む食べ物をたくさん摂取したり、事前にグリコーゲンを筋肉中に蓄積させる「カーボローディング」という食事法を多く採り入れているのです。今回、国際Aタイプでみごと念願の優勝を果たした河原勇人選手もレース当日朝にあんころ餅を食べるなど、普段から栄養補給にお餅を愛用しているとのことでした。このハンガーノックはトライアスロンに限らず、マラソンや登山、サッカーなど耐久力が必要な様々なスポーツに当てはまるため、今後もより多くの人々にお餅を使ったカーボローディングを実践して頂ければと考えています。



大会期間中のプロモーション活動は、おもに次のように行われました。

9月3日(土)

### アミューズメント佐渡にて 切り餅サンプリング

午前10時より開会式会場のアミューズメント佐渡にて、選手や家族に向けて切り餅セット(切り餅パック、リーフレット、ポケットティッシュ、餅カーボ漫画)をサンプリング。ロビーに設置されたおもち大明神では、明日のレースの行方を占うおみくじを用意して、大吉を引き当てた方には記念撮影を行いインスタント写真をプレゼントしました。さらに新施策として、おもち大明神と記念撮影をして各種SNSへ投稿して頂いた方に切り餅パックを贈呈しました。

また、開会式には全国餅工業協同組合の赤塚昌一包装餅需要拡大運営委員長が登壇しました。

### ジュニアトライアスロン大会にて 焼き餅配布

佐和田海水浴場(佐渡市)に隣接するメイン会場内では、ジュニアトライアスロンに参加した子供たちや応援に訪れた家族に、砂糖醤油で味付けした焼き餅を配布。長蛇の列が出来るほどの大好評でした。特設ブースにお餅を取りに来てくれた多くの方々から、「毎年ここでお餅を食べるのを楽しみにしているよ」「どこのお餅を使っているの?」とたくさんの声を掛けて頂きました。

### お餅が大好きな兄弟が圧勝!

ジュニア大会の「ちびっこクラス(小学1年~3年生)」と「キッズクラス(小学4年~6年生)」では、仙台からエントリーした兄弟がそろって優勝。お母様に伺ったところ「育ち盛りの男の子4人兄弟なので、手軽にできるお餅を普段からよく食べさせてます。子どもたちはお餅が大好き」とのことでした。

また、家族でオートキャンプを楽しみながらレースに参加したファミリーもいて、「キャンプの荷物を出来るだけ減らしたかったので、煮たり焼くだけで美味しく食べられる切り餅はとても重宝していますよ」と、アウトドアでのお餅の有用性を教えて頂きました。

9月4日(日)

### レース後もおもちでたっぷり栄養補給

朝から茹るような暑さの中でレース本戦がスタート。最高気温は摂氏34.2度を記録する(相川地方:新潟地方気象台調べ)過酷な条件の中で、約2千名の選手がトライアスロンに挑みました。全餅工では前日に引き続き特設ブースで焼き餅を振る舞うとともに、おもち大明神や組合加盟各社の商品パックを一覧できるバナーなどを掲出し、国内産水稲もち米100%を使用した包装餅のプロモーションを行いました。

レースを走り終えた選手をはじめ、たくさんの方々に焼き餅を食べて頂き、体力回復のための栄養補給にもお餅が有用であることを実感して頂きました。

9月5日(月)

### 佐渡トライアスロンには“おもち”が定番!

大会翌日には表彰式と閉会式が行われました。全国餅工業協同組合からはスポンサー賞として切り餅一年分を5名の方にプレゼントする大じゃんけん大会を実施。プレゼンターとして全国餅工業協同組合の樋口元剛副理事長が登壇しました。場内は大いに盛り上がりました。

全国餅工業協同組合が「佐渡国際トライアスロン」に協賛するのは6年連続となり、大会の常連として、参加者や地元の人々に温かく受け入れられています。

